



# 新しい総合計画が できました

市では、令和4年度から令和15年度までの12年間を計画期間とする新しい総合計画を定めました。今回の特集では、同計画の内容や、策定に携わった皆さんの思いを紹介します。

企画課  
☎ 30-6101 FAX 22-1398 [HP 番号:5494]

12年後の自分の姿を  
思い浮かべたことはありませんか？  
そのとき、彦根のまちはどのような  
なっているのでしょうか。

「総合計画」は、まちづくりの最も基本となる計画です。

**総** 合計画のめざすまちの姿は“歴史と文化を紡ぎ、未来を創造する、市民一人ひとりが輝くまち彦根”です。その実現に向けて4つの「まちづくりの方向性」と、1つの「政策推進のための取組」の、合わせて5本柱で取組を進めます。

**こ** の計画に基づいて、市民の皆さんが暮らしやすいまちをつくるためのいろいろな取組を進めます（主な取組について、詳しくは4～5ページをご覧ください）。

**め** ざすまちの姿をみんなで共有して、まちに関わる人みんなで実現していきます。

## <めざすまちの姿>

歴史と文化を紡ぎ、未来を創造する、  
市民一人ひとりが輝くまち彦根

## <まちづくりの方向性>

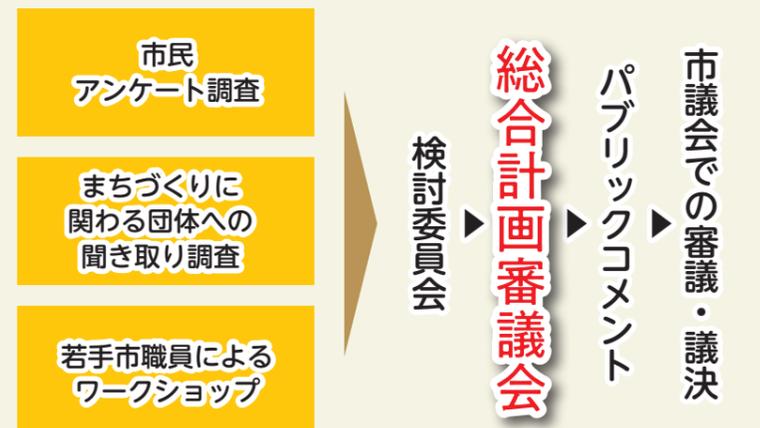
- ① だれもがその人らしくいきいきと暮らし、つながり支え合うまち
- ② 子ども・若者が自分らしく輝き、学び躍動するまち
- ③ 歴史・文化を生かし、にぎわいと特色ある産業が育つまち
- ④ 豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち
- ⑤ 政策推進のための取組

## 新しい総合計画には、彦根市に関わる いろいろな人の思いがつまっています



市民の皆さんの意見を参考に、市役所内の「検討委員会」での話し合いを経て、市民・関係団体・専門家など彦根市に関わるさまざまな人が参加する「彦根市総合計画審議会」で話し合いを重ねていきました。

特に「彦根市総合計画審議会」は、計画策定の中心であり、委員の皆さんと市の職員が真剣に議論を重ね、計画を作り上げていきました。



## インタビュー

彦根市総合計画審議会の会長と副会長をお務めになったお二人に、審議会で計画をつくるなかで大切にしたことなどをお聞きしました。

## “やさしい彦根でありますように”という願いをのせて

### 審議会をとおして印象に残っていることは？

上田さん「審議会の中で、委員さんから『人にやさしい、自然や環境にやさしい、人々が助け合ったりつながり合うような、彦根にはやさしいまちであってほしい』という発言があったのが印象的でした。こんなまちだったら、持続可能な時代にふさわしいと思い、共感したことを思い出します。

廣川さん「“やさしいまち”は、私も印象に残っています。これは審議会の中でみなさんの思いから生まれてきた言葉ではないでしょうか。また、『彦根といっても南北に広くて、



会長 廣川 能嗣さん  
(計画策定時)

「(この計画が)彦根が飛躍する原動力になってほしいです。」

地域ごとに多様性がある』という意見が印象に残っています。そうしたことも考慮しなければならないと感じました。各委員さんからとても活発に意見が出て、みなさんが彦根に対して非常に熱い思いを持っておられると感じています。」

### 市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

廣川さん「新しい総合計画をまちづくりの“基本”として、市民・関係団体・市などみんなで共有していただいて、『何のためにそれぞれの取り組みをしているのか』ということをもみんなに理解してもらって、全員参加で進めていくことが重要だと思います。」

「時代が変わっても、市民の彦根に対する熱い思いは変わらないと思います。」



副会長 上田 美佳さん  
(計画策定時)